

絵本と子どもと私

尾鷲市立図書館協議会委員 北川 志保

笑い・驚き・怒り・悲しみ・発見…絵本を通して、子どもたちと想いを共有できる日々、そして幸せなひと時。

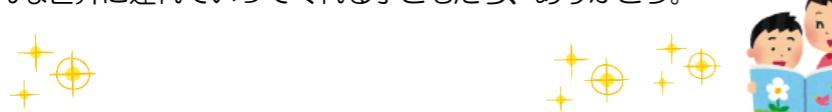
子どもたちと一緒に爆笑しどきする絵本がある。『ダメよティビッド！』『いやいやえん』『おしいれのぼうけん』。向こう見ずでやんちゃで無鉄砲な主人公が必ず登場する。子どもたちは「こんなことしたら怒られるよね」「いけない子だね」とつぶやきながらも、その破天荒な言動に憧れを抱いているかのようだ。主人公に自分を投影し、空想の世界を楽しんでいる子どもたちの目は輝いている。

子どもたちと一緒に“あくび”が出る絵本がある。『あくび』。欠伸はうつるとよく言われるが、絵本からでもうつることに驚いた。中川ひろたかさんの子どもも大人も引きつける面白おかしい話は大好きだ。シンプルな題材だが、動物愛護・人種問題・社会的弱者といった隠れたメッセージは奥深く、香気に欠伸をしている場合ではないと我に返る。

子どもたちに読んでいると声がつまる絵本がある。『かわいそうなぞう』『ぼくのこえがきこえますか』『はせがわくんきらいや』。時代背景・社会問題を含んだストーリーや実話による問題提起は、5~6歳の子どもたちは少し難しい内容であろう。しかし、登場人物のやり場のない怒り、底知れぬ悲しみ、海よりも深い愛は、子どもたちの心に確実に届いており、一人ひとりの目は鋭く真剣になる。

この話でどうして涙が出るの？と同僚に笑われる童話がある。『ロボットカミイ』。段ボールで作られたロボットのカミイが、トラックにひかれそうになる幼稚園児を守ろうとして自分がひかれるシーンがある。病院に救急搬送されたカミイが病院から出る時には、木箱に入っていて動かない。死を意味する。絵本や童話は段ボールで作られたロボットにも命を吹き込むことができる。

こんなことをいろいろ考えたりしていると、読みたい絵本があることに気がつく。『うえきばちです』。川端誠さんの絵本は一冊一冊が違った世界に案内してくれる。この絵本の帯には“極めつけのナンセンス絵本”と書かれており、扉を開くと、何も考えず、ただただフフッと笑うことができる。今日は、どんな絵本にしようか…と考える日々、そして幸せなひと時。私をそんな世界に連れていってくれる子どもたち、ありがとう。



図書館行事報告

☆寿文庫へご協力いただき、
ありがとうございました！

寿文庫運営委員会では、「寿文庫」充実のため、図書購入に協力していただく運動を続けています。今年もこの運動により、厄年・祝い年や一般の方をあわせて86名の皆様から、537,404円の寄付をいただきました。

ご協力ありがとうございました。ここに厚くお礼申し上げます。

寿文庫運営委員会 委員長 宮崎 真一、委員一同

今回のご寄付は「第56回寿文庫」として図書を購入させていただきます



2021 4 April

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2021 5 May

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	※	7	8
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
						31

2021 6 June

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

※5月のおはなししだっこはお休みです

おはなし会の予定

★おはなししだっこ【赤ちゃん対象】

第1木曜 1歳児以上 10:00~
0歳児 10:45~

★おはなしの時間【幼児対象】

第1・3土曜日 11:00~

★おはなしの広場【幼児~小学生】

第2・4土曜日 11:00~



尾鷲市立図書館（〒519-3616 三重県尾鷲市中村町10-41）

開館時間 火~金 9:30~19:00 / 土日祝 9:30~17:00

休館日 月曜日・月末 ※月曜日が祝日の場合は翌日休館

年末年始・蔵書点検期間 月末が土日の場合は直前の金曜日休館

電話番号 0597-23-8282 FAX 0597-23-8283

図書館HP <https://ilisod003.apsel.jp/owase-library/>

図書館だより 2021年春号

つみくさ

* 尾鷲市立図書館 * ©TATSUYA MIYANISHI

4月23日は
子ども読書の日

毎年4月23日は「子ども読書の日」です。子どもの読書活動について関心と理解を深め、子どもたちの積極的な読書意欲を高めるための日として、2001年に定められました。子どもの本と言っても、昔からの名作や映像化された本など、大人だって楽しめるものも沢山あります。この機会にぜひ読んでみてはいかがでしょうか？



『100万回生きたねこ』

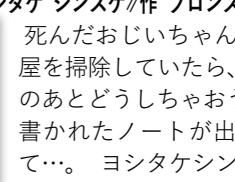
佐野 洋子//作絵 講談社
100万回生まれかわっては死んでゆくねこ。死ぬのなんか平気だったねこは、ある時、一匹のしろねこに出会い…。

『赤毛のアン』

L·M·モンゴメリ//著
掛川 恒子//訳 講談社
ふとした手違いで老兄妹に引き取られることになった孤児のアン。想像力豊かで明るい性格は、いつしか周囲を温かく変えていく…。不朽の名作です。

『このあとどうしちゃおう』

ヨシタケ シンスケ//作 ブロンズ新社
死んだおじいちゃんの部屋を掃除していたら、「このあとどうしちゃおう」と書かれたノートが出てきて…。ヨシタケシンスケの発想絵本。



«目次»

- ・図書館利用者さんの
「これ読んでみいまー！」
- ・図書館エッセイ…北川志保さん

- ・「ねえねえ知っとる？」
…ポランの会
- ・3ヶ月ランキング
- ・図書館行事報告／カレンダー

図書館利用者さんの

これ読んでみいまー!



『インタビューズ』

(堂場 瞬一著、河出書房新社)

平成元年。新聞記者の俺は大学時代の友人のアドバイスで、これから始まる平成の全ての大晦日に、その年一番印象的だった出来事を聞くというインタビューを行うことを決め…。100人の架空のインタビューで繋がる物語。

堂場瞬一の作品は35冊完読しましたが、新聞記者や警察関係者が主人公として事件に取り組んだものや、組織の内実をくわしく書かれたものが多かった。ところが、本書は平成元年の大晦日から、毎年同じ日に渋谷のスクランブル交差点で、今年の一番だった出来事をインタビューするという異色の小説。平成時代の忘れかけていた出来事を思い出し、面白かった。

今年5月に74歳となる男性



『嫁をやめる日』

(堀谷 美雨著、中央公論新社)

ある晩、夫が市内のホテルで急死。「出張に行く」という言葉は嘘だった！夫の隠された顔を調べはじめる夏葉子だったが、一方、義父母や親戚等からの同情はやがて「監視」へと変わり…。義父母、婚家からの「卒業」を描く。

「姻族関係終了届」というものをご存知ですか？ 文字通り嫁ぎ先との関係を断つ書類なのですが、なんと！ 提出するだけでよいのです！ 知識のひとつに加えて下さい。

60代主婦



『妖怪アパートの幽雅な日常』全10巻

(香月 日輪著、講談社)

幼い頃に両親を事故で亡くした為、早く独り立ちするのが夢だった夕士。高校入学と同時に憧れの下宿生活を始めたが、なんとそこにはちょっと変わった、でも人情味あふれる「住人たち」がいた…。

夕士が入居した寿荘は、なんと妖怪や幽霊が住む妖怪アパート！ 戸惑いながらも、アパートで多くの人と出会い、居場所を見つけ成長していく。おもしろくて読み出したら止まらない。寿荘の住人になりたくなりますよ。

Rさん（12歳）

ねえねえ知っとる？

プランの会

読書ボランティアサークル「プランの会」は、本好きの方たちが子どもの本（児童書）についていろいろお話ししたり、幼稚園・小学校などを訪問し読み聞かせを行なったりしているサークルです。平成2年に始まったこのサークルでは、毎月担当者が決めた課題の本を読み、気づいた点や面白かった表現等を会員皆で語り合います。現在の会員数は14人。皆さんとても活動熱心で、図書館のイベントにもたくさん協力してくださっています。



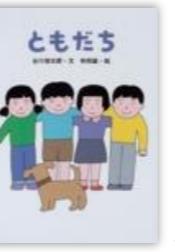
この日の課題は
中川李枝子さんの
『いやいやえん』
『ぐりとぐら』
でした

会員の皆さんおすすめ本を紹介！



『秘密の花園 上・下』
バーネット著、山内 玲子訳
岩波書店

遠いインドでいちどに両親を失ったメアリは、イギリスの田舎のおじさんの家にひきとられました。そのお屋敷には、入口の鍵がかかったまま、10年間誰も入ったことがないという「秘密の庭」がありました…。



『ともだち』
谷川 俊太郎著、和田 誠絵
玉川大学出版部

ともだちって かぜがうつっても
へいきだって いってくれるひと。
だれだって ひとりぼっちでは
は いきてゆけない。ともだちって
すばらしい。 谷川俊太郎の詩と和田誠のイラ
ストによる、心温まる絵本。



『汽笛』
長崎 源之助著、石倉 欣二絵
ポプラ社

アジア太平洋戦争が終わり、日本に帰ってきた兵隊さんは長崎の病院に入院した。そこで出会ったのは、火傷がひどくても、腕がなくても、たくましく生きる子どもたち。原爆孤児と元兵隊の交流を描いた、平和への祈りの物語です。



『ふたりはいっしょ』
アーノルド・ローベル著、
三木 卓訳 文化出版局

がまくんとかえるくんは、とっても仲良しかえる。あるあさ、がまくんは今日のよていひょうをつくりはじめて…。ふたりの間で繰り広げられるユーモアたっぷりのお話5編を収録。大人から子どもまで、多くの人に愛されているシリーズです。



『さんせーい！』
宮西 達也著、フレーベル館

お昼ごはんの相談をしていた5匹の仲良しおおかみ。みんな食べたいものがばらばらだったので、ぶたを食べることにしました。1匹ずつぶたを捕まえられたのですが、ビルがぶたを逃がしてしまって…。



『さぼんじいさんのかきのき』
すとう あさえ著、織茂 恒志絵
岩崎書店

さぼんじいさんは、あまい柿をいつもひとりじめしています。まああさんにわけてくれるのは、葉っぱや枝ばかり。でも、まああさんは、大よろこびです。そのわけは…。



『えっ！わたしだけの学校？』
劉 旭恭著、松本 猛訳
新日本出版社

学校に行ったら、生徒は女の子ひとりだけ。みんな別の学校に行ってしまった。先生たちは「このままでは学校がつぶれてしまう」と心配し、女の子にあるだけの知識を教えます。でも熱くなるあまり、先生たちはけんかを始めてしまつて…。



『あとかくしの雪』
谷 真介著、赤坂 三好絵
校成出版社

長旅で疲れ、空腹のお坊さんのために、心優しいおばあさんはやき大根をごちそうします。11月23日の大师講の夜、必ず雪が降るといわれる由来話。

近日配架予定です

3ヶ月ランキング

2021年1月～3月です

1位 『犬がいた季節』
(伊吹 有喜著、双葉社)

ある日、四日市の高校に迷い込んだ子犬。生徒と学校生活を送る中で、その瞳に映ったものとは…。昭和から平成、そして令和へと続く時代を背景に、生徒たちの青春のきらめきや切なさを描いた物語。



2位 『勘定侍柳生真剣勝負1』(上田秀人著、小学館)

3位 『一橋桐子76の犯罪日記』(原田ひ香著、徳間書店)

『海に消えた神々』(今野敏著、双葉社)

『勘定侍柳生真剣勝負2』(上田秀人著、小学館)

4位 『神様の御用人9』(浅葉なつ著、KADOKAWA)

『復讐の協奏曲』(中山七里著、講談社)

『三郎と幸福のホテル』(笠原正雄著、PHP研究所)

…………★ 小説以外の1位 ★…………

『背中革命 一緒にくびれるayayoga』(aya著、主婦の友社)

『だいくとおにろく』

松居直著、赤羽末吉画
福音書店



はげしい川に橋をかけるよう頼まれた大工。そこへ鬼が現れ、目玉とひきかえに橋をかけてやると言いました。橋が完成し、目玉をよこせとせまる鬼。名前を当てれば許してくれると言ってきて…。日本の昔話絵本。

『ポピーとそらいろのヨット』

マーガレット・バーディック著、
わたなべしげお訳 童話出版社
アナグマさんのお店にある素適な
ヨット。「いいものとこうかんしま
す」って、何とだったら換えてくれ
るんだろう。カワウソのポピーは考
えますが…。



近日配架予定です

『ぼくのこえがきこえますか』
田島征三著 童心社



戦場で砲弾によって、ぼくの身体は飛び散りました。でも、ぼくの心は弟の怒りを見、母さんの悲しみを見ます…。憎悪と復讐のむなしさを描く。日本・中国・韓国の絵本作家が手をつなぎ、子どもたちにおくる平和絵本シリーズです。